

上島町公共施設あり方検討協議会 議事録

日時：令和4年2月25日（金） 13：50 ～ 15：40
場所：弓削総合支所庁舎 3階 第一会議室

1. 開 会

会長あいさつ

2. 議 事

- ① 下弓削中央集会所のあり方について
- ② 三分団集会所のあり方について
- ③ 岩城コミュニティセンターのあり方について
- ④ 岩城構造改善センター（海原集会所）のあり方について
- ⑤ せとうち交流館のあり方について
- ⑥ 弓削開発総合センターのあり方について
- ⑦ 生名開発総合センターのあり方について
- ⑧ 岩城開発総合センターのあり方について
- ⑨ 魚島開発総合センターのあり方について
- ⑩ 魚島地域交流施設のあり方について

3. その他

今後のスケジュール等について

4. 閉 会

(事務局)

それでは、上島町公共施設あり方検討協議会を開催いたします。
本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。
なお、本日は、A委員が所用のため欠席となっております。
それでは、会長からひと言あいさつをお願いします。

(会長)

皆さんこんにちは。私だけ、こういう方法（リモート）で大変心苦しく思っていますが、せっかくなので、与えられた時間の間に、効率的な協議を進めてまいりたいと思います。

(事務局)

ありがとうございました。

(会長)

それでは、会長が仕切ることになっているので、本日のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

本日は、集会所3施設、開発総合センター4施設、その他の住民交流文化系施設3施設の計10施設について、前回同様に担当課から施設の現状及び担当課の考える管理方針の説明を行った後、皆様からご意見をいただきたいと考えております。

今回の施設は、住民の皆様が直接使われる施設となりますので忌憚のないご意見をいただければと思います。

本協議会で皆様からいただいたご意見等を踏まえ、町としての管理方針を決定していきますので、施設の存続、統廃合等だけではなく、施設をどのように使ったらもっと効率的に使えるか等のご意見もいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

(会長)

それでは、議事に入りたいと思います。

まずは、下弓削中央集会所について、担当課からご説明いただきたいと思えます。

(住民課)

〈下弓削中央集会所の概要等説明〉

設置目的については、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、よって生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置。

昭和50年に建築し、建築から47年が経過しているが、鉄筋コンクリート造、平屋であり、部分改修を行っていることから、比較的良好な建物となっている。

コストについて、歳入は多くの利用が地区や各種団体、上島町の事業のため、無料となっている。その他、物品販売業者による使用等の収入があるが、現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、自粛が続く、令和2年度から歳入が減少している。

歳出については、光熱水費、申請受付・建物及び周辺の清掃管理等の委託料が主な経常経費となっている。修繕等、突発的なことがない限り、ほぼ同額で推移している。

利用については、平成30年度の利用者が3,517人で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けなければ、年間3,000人前後の利用が見込まれる。

維持管理費については、令和3年度にエアコンの更新、トイレの洋式化、自動水洗化を行い、光熱水費の削減が期待できると考えている。また、令和15年、20年頃に屋上防水工事、屋内補修工事が必要と考えている。

下弓削中央集会所は、弓削地区の公民館的役割を果たす施設であり、年間利用人数も多く、近隣に代替施設もないことから、担当課としては、軽微な修繕を実施しつつ、建物の安全性が確保される間は存続していきたいと考えている。

(会長)

ありがとうございました。下弓削中央集会所のあり方について、ご意見、ご質問があればお願いします。

(D委員)

施設については、非常に使いやすく、様々な事業に活用できてうれしく思っている。修繕の方も役場、地区で進めていい環境にあると思うが、せとうち交流館で鍵の管理ができないか。

(住民課)

即答はできかねるが、その方が使いやすいという意見があれば検討させていただく。現在、ログハウス、開いていない場合は役場で鍵の貸し出しはできるので、鍵の貸し出しを分散すると予約のブッキングがあったりするので、役場に来ていただいた方がブッキング等が起きにくいと考える。

(D委員)

窓口を増やすのではなく、窓口を一本にしてくれたらいい。せとうち交流館は365日開くので。

地区からも（要望が）出ているので、できればそういう風にしてもらった方が良い。

（住民課）

検討いたします。

（F 委員）

年間の利用人数が、平成30年度、令和元年度と3,000人とあるが、どのようなイベントで利用しているのか。

（住民課）

おたっしゃクラブ、老人クラブのカラオケ、各種団体の体操で、一回に10人から20人利用する。物品販売、祭り、葬儀であつたり使われるときはまとまった人数がある。

（D 委員）

お祭りだけで、3日間やって、延べで千人は超す。割と利用頻度は高い。

（F 委員）

健全度がⅡになっているが、修理をやっているので良好な建物ということだが、そこを加味して健全度を判定するのではないか。

（住民課）

健全度は総合的に判断してⅡになっているが、細かな修繕等を行っており、建物自体は、平屋でいびつな形ではないので負荷が少ない建物になっている。

（B 委員）

町が直営で管理している集会所は他にあるか。

（住民課）

生名の三分団集会所です。

（B 委員）

弓削地区には他にないのか。

（住民課）

下弓削中央集会所と栗手中央集会所の2箇所です。

(B 委員)

単独で吟味するのは、単純に数字を見て現状は理解できるが、全体というか弓削地区の中に直営の施設が二つあるなら、二つ出して同時に天秤にかけてもらった方が理解しやすい。

(会長)

その他にないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。

(住民課)

〈三分団集会所の概要等説明〉

設置目的については、下弓削中央集会所と同じ。

平成3年に建築し、建築から30年が経過している。現在まで、部位修繕は行っているが、大規模改修は行っておらず、健全度は低くなっている。

コスト関連としては、町、社会福祉協議会、囲碁クラブの利用が主なもので歳入は殆どない。歳出については、清掃費、白蟻防除等の経常的な経費であり、修繕等がなければ、殆ど同額で推移している。

利用状況については、町、社会福祉協議会の行事等での使用により、今後も同程度の利用が見込まれる。

施設は、部位修繕を行いながら継続して利用することは可能だが、生名開発総合センターと利用形態が重複しており、どちらかに集約することで経費の削減等につながると考えている。

担当課案としては、施設規模、施設の状況から生名開発総合センターへの集約を検討することとしており、集約した場合には、サテライトオフィス等の企業誘致等での活用を併せて検討したいと考えている。

参考ではあるが、生名開発総合センターに集約し、三分団集会所をサテライトオフィス等として貸し付けた場合の経済比較を作成している。金額等は概算で入力しているので参考としていただきたい。

(会長)

三分団集会所のあり方について、ご意見、ご質問がある方はお願いします。

(F 委員)

集約、統合するのは賛成である。

三分団集会所は、いろいろなもので使っているが駐車場がない。

開発総合センターの方が建物の改修をしており、そっちを利用して交通を良くした方が良いと思う。

他の島でもそうだが、同じ目的で建てた建物がいくつもある。開発総合センターにしても、各集会所にしても、統廃合して一つの利用度を高くしていった

方がいような気がする。

ただ、これを持ち帰って自治会の役員会等で話をすると思文句が出ると思う。

生名開発総合センターのネックとしては、上層階を利用するのにエレベーターがない。

三分団集会所をサテライトオフィスにしたいというのは何か当てがあるのか。

(住民課)

当てがあるわけではないが、町の方にサテライトオフィスで使える施設はないかとの問い合わせは入ってきているので、その中の施設として提案することも可能性として考えている。

(F 委員)

工事をするということになるのか。

(住民課)

状況を見ていただいて、今のままで良いと言え、そのままでの使い方もあうと思う。

(B 委員)

F 委員がそう言っていただけると非常に言いやすいが、私も三分団集会所は生名開発センターと統合した方が良く思う。

生名開発総合センターは非常に稼働率が低い。

サテライトオフィスという話があったが、いろいろな大学から、サテライト教室みたいに使えないかという話も聞いている。

学校だけでなく、民間に賃貸で貸すという形もあると思う。そういう風にスペースを提供したほうが民間も動きやすいし、町としても財政が厳しいので家賃が入ればプラスになる。

上弓削の福祉センターに民間の会社が入っているが、70㎡ぐらいで家賃が7万円と聞いている。

(F 委員)

管理委託費というのは、どういう項目なのか。

(住民課)

三分団集会所であげている管理委託費は、トイレ等の建物の清掃費、白蟻の定期的な管理委託です。

(会長)

他にないようでしたら、次の議事に移ります。

岩城コミュニティセンターについて住民課の方からお願いします。

(住民課)

〈岩城コミュニティセンターの概要等説明〉

設置目的としては、健康増進及び社会福祉の向上並びに生活改善の推進を図ることを目的として設置している。

昭和56年に建築し、建築から41年が経過しているが、平成24年に大規模改修を実施しており、健全な建物となっている。

コストについて、歳入は利用料収入のみで30,000円前後となっている。

歳出については、光熱水費、消防設備、防火対象物の点検費用が主な経常経費となっており、修繕等、突発的な支出がない限り、ほぼ同額で推移している。

利用については、3年間の平均利用人数は587人となっており、今後も同人数程度の利用が見込まれる。

軽微な修繕はあると思うが、平成24年に大規模改修を実施しているため、大きな修繕はないと考えている。

担当課としては、岩城地区のコミュニティ活動の場としての代替施設がなく、経常経費も必要最低限の保守管理費用であるため、引き続き存続していきたいと考えている。

(会長)

岩城コミュニティセンターについて、ご意見、ご質問があればお願いします。

(D委員)

他の施設に比べると利用人数が非常に少ないが、使いにくいとかがあるのか。

(住民課)

コロナ前は、文化協会のマンドリン部、脳トレ教室、小学生から大人まで参加する手遊びの会を開いたり、二階の婦人学習室は、炊事場があるので婦人会が各種イベントの炊き出しや廃油石鹸作りも行っている。

三階も月一回だがヨガ教室で利用しているので、住民課としてももう少し活用していただけるように、周知等に力を入れていく。

(G委員)

D委員が言ったように、私の耳に入る限りでは、頻繁に利用しているとは聞かない。

以前は、放課後学童保育で使ったり、非常時があった場合の打合せ等で使っていた。

調理場はここしかないが、調理場を使って炊き出しをしているのを、あまり聞いたことがない。

軽微な費用で運営できるということであれば、地元はそれでよいと思うが、近くに開発総合センターがあるので、そこを利用すればコミュニティセンターがなくても会合等はできると思う。

ただ、耐用年数的に言えば、まだ十分使えるということで、経費も極端に大きな額でないので、2、3年様子を見て、利用者がいないということであれば開発総合センターを利用する等、考えていただければと思う。

町中にあるが、使ったこともないし、使い勝手が良いようには聞かない。

昔は婦人会が集まって会合をしていたが、今頃は婦人会の活動自体は全然していない。活動しているという話も耳に入っていない。

(F 委員)

平成24年に改修費3,200万円がかかっているから、存続しないといけないという役場の希望みたいなものがあるのか。

(住民課)

特にお金がかかっているからという意味合いではない。

(B 委員)

そういう状態であれば、民間に賃貸に出すとかという発想をしていかないと建物だけ遊ばせても意味がない。

賃貸に出す、あるいは土地を含めて売却するとかまで考えないと人口も減っているし。

利用者がいないという区長さんの意見であれば、資産の売却までいなくても、有効活用するために民間に貸し出すとかご検討ください。

(C 委員)

近くに同じような施設があるなら、どちらかを無しにすることもあっていいんじゃないかと思う。

(H 委員)

岩城開発総合センターの方には緊急避難施設とあるが、コミュニティセンターの方は緊急避難施設にならないのか。

収容人数としては足りているのか。不足するようなら緊急の時に避難場所に指定するという活用方法もあると思うが。

開発総合センターの方が高台なのか。

(D委員)

高低差が10メートルくらいある。(開発センターが高台にある。)

(G委員)

利用方法としては、開発総合センターを使えば会議等はできるが、調理場がコミュニティセンターしかない。

利用状況については、婦人会に聞いてみないとわからない。

それ以外の集会とか健康増進は、保健センターもあるし、コミュニティセンターでなくても、他の施設で十分補えるのではないかと思う。

(会長)

他に意見がないようでしたら、次に移りたいと思います。

(産業振興課)

〈岩城構造改善センターの概要等説明〉

設置目的については、地域営農指導及び担い手育成を目的とした研修並びに地域住民の集会等の場所を提供するため設置している。

平成3年に建築し、鉄骨造りで建築から30年が経過しているが、毎年目視による点検を実施しており、健全度は良好である。

現在まで大規模修繕は行っておらず、軽微な修繕は管理受託者により実施し、大規模な修繕については、町で実施します。

光熱水費については、管理受託者の負担で支出しており、町の支出は白蟻防除業務で毎年ほぼ同額で推移している。

利用状況は、海原地区の集会所としての機能を有し、地区行事等、様々な場面で活用されており、住民同士の交流の場及び地域コミュニティ活動の拠点として重要な役割を担っている。

毎年の点検を実施することで修繕箇所の早期発見による修繕経費の軽減を図り、地域コミュニティ活動の拠点として大切な施設であるため、今後も利活用するとともに存続するために経費の削減に努める。

(会長)

岩城構造改善センターについて、ご意見、ご質問があればお願いします。

(D委員)

管理委託をしている方が軽微な修繕等を行っているという説明があったが、他に会計があるのか。

(産業振興課)

地区と契約して地区に管理してもらっており、地区で光熱水費と軽微な修繕を負担してもらっている。

(D 委員)

委託費は地区に支払っているのか。

(産業振興課)

施設の管理委託でお金は発生していない。

集会所的なものなので委託費がない代わりに、地区費から支出している。

(D 委員)

結構お金がかかると思うが、地区からそろそろ役場で面倒を見てくれないかと話はないか。

(産業振興課)

岩城村時代に海原地区に建てていただいたので、地区で管理をしなければいけないという気持ちの方が強い。

地区費で計画的に畳の補修代等を支出して維持管理している。

(G 委員)

光熱水費も地区負担か。

(産業振興課)

はい。

(D 委員)

光熱水費については、年間で80万円から60万円はかかっていると思うが、地区の方は負担に感じていないという理解で良いのか。

(産業振興課)

光熱水費がどのくらいかかっているかは把握していないが、使っていなければ基本使用料の範囲内ではないか。

(F 委員)

生名の集会所では、稲浦集会所は利用する人が減り、地区の負担が大きくなったので、ガスを止めた。

西浦集会所もカーテンを交換したが、役場から地区管理のため、地区費で交換するように言われ30万円くらいかった。トイレも一つは地区で、一つは町で洋式にした。エアコンを取り付けるのも地区でやったりして、結構負担が

大きいので、集会所もどんどん整理していかないといけないが、集会所はいら
ないとは誰も言わない。

住民から統合の話を出すと袋叩きになるという感じなので、役場の方が主
導して、こことこの集会所を統合しましょうと言ってくれると良い。

(B 委員)

海原地区の戸数は？

(G 委員)

80 戸くらい。

(B 委員)

弓削の太田地区は 30 戸ないが集会所の光熱水費を負担している。

集会所を全部洗いだして統廃合をやっていかないと小さな部落は負担が大
きくなってくる。

太田集会所の場合は、築 50 年くらい経過しており、老朽化しているが、そ
れを直してまで使うのは難しい。

地区の統廃合を考えて集会所をどうするかという話をしていただかないと
いけない。

(事務局)

地区の統廃合については、地区の方で検討していただきたいと考えている。

町の方から、この地区は人数が少ないから、こっちの地区とひつついたら良
いというのは難しい。

(B 委員)

一つの自治会として運営が難しくなるので、命令ではなくて、指導という形
で話をしないといけない。

地区が自分から言えないので、組織が小さくなったので、どうでしょうかと
命令ではなくて指導という形でやっていただけると助かる。

建物の統廃合も同時進行で地区の統廃合を考えると、非常にスムーズに話
が進むと思うのでご検討をお願いします。

(会長)

他にないようでしたら、次にいきます。

(産業振興課)

〈せとうち交流館の概要等説明〉

設置目的については、地域の資源を活用し、地域の特性を生かした地域間交流の促進を図り、活力ある島づくりを目指す拠点施設として、設置している。

平成16年に建築し、建築から17年が経過しているが、建物及び施設内の設備の健全度は良好となっている。

コスト関連としては、コロナの影響で各種団体の活動及びイベント等が減少したことにより、歳入は減少傾向にあるが、歳出は、光熱水費等の経常的な経費であり、大きな工事、修繕等がない限りはほぼ同額で推移している。

利用状況は、体験交流室はマンドリン、文化協会の活動、木工房は、婦人会、JA 女性部等のグループによる調理、多目的ホールは、会議やイベント会場、コンサート、展示室は、各種団体による作品展示等、各部屋で定期的な利用がある。図書スペースでは、令和2年度、累計7,000冊の貸出実績があり、本施設は有効に活用されている。

多目的ホール、体験研修室については、代替施設があるが、図書スペース等を含めた複合施設としての代替施設は他にはなく、岩城橋開通により利用者の増加も見込めることから、施設の長寿命化を図り存続とする。

(会長)

せとうち交流館のあり方について、ご意見、ご質問があればお願いします。

(G委員)

年間の利用人数、利用件数は、町主催の会で使用した数を含んでいるのか。

(産業振興課)

町も申請を出して使用しているので、申請があったものについては件数に含めている。

(F委員)

歳入のその他はどういった内容か。

(産業振興課)

音響、簡易ステージ購入事業における宝くじ事業の財源等を等に入れている。

(F委員)

歳出のその他はどういった内容か。

(産業振興課)

他の項目に該当しないものをまとめている。

消耗品費、燃料費、図書購入費等。

(F 委員)

比率が高いのならその項目を作った方が良いと思う。

金額が大きい場合は、きちんと内容がわかるように説明していただきたい。

(E 委員)

令和12年に大規模改修をするとなっているが、どのような改修をするのか。また、金額はこの金額か。

(産業振興課)

個別施設計画で定められた、㎡あたりの標準単価に建物の面積を乗じて算出した金額を入れている。

実施時期についても、当計画に定められた年度を記入している。

(会長)

他にご意見等がなければ次の議題に移ります。

(総務課)

〈弓削開発総合センターの概要等説明〉

設置目的については、町の産業及び社会教育の振興、生活指導の推進、保健及び福祉の増進、生活便益の確保並びに離島文化の保存、保護等の多目的総合施設として設置している。

建築年は昭和57年で39年ほど経過している。施設の健全度は平成28年度に屋上防水工事とトイレ改修工事を行い、令和元年度には天井耐震工事を行い、施設としての機能を保全している。

利用状況については、令和元年度まで約4,500人で推移していたが、近年は新型コロナウイルスの影響もあり減少している。

維持管理費用は令和7年度、8年度に施設内外のひび割れ修繕、外壁修繕等の長寿命化工事を予定している。

代替施設については、弓削保育所、教育委員会が入っている旧佐島小学校を除いては、近隣に同規模の施設がないため、現時点ではない。

1階は佐島区の集会施設、文化協会の活動、2階はスポーツ協会の活動等に利用されており、利用頻度は高く、他の施設との統合も難しいため、長寿命化を図りつつ存続とする。

佐島簡易郵便局の老朽化が進んでいるため、セキュリティ面の問題を解決できるようであれば、工事の際に統合も検討したい。

(会長)

弓削開発総合センターのあり方について、ご意見、ご質問があればお願いします。

(H委員)

文化協会、スポーツ協会の活動は、どれくらい利用しているのか。

(総務課)

正確な数字はわからないが、毎週使用している。

(H委員)

合併してから社会教育の活動が手薄になっているのではないかと感じているので質問した。

(D委員)

佐島地区の人口にしては、多くの方が利用している。

(D委員)

2億7千万円というのはかなりの改修になるが。

(総務課)

外壁、施設内のクラッ補修の他、施設を70年使用するための躯体部分の補強を含めた工事を想定している。

(会長)

次に行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(総務課)

〈魚島開発総合センターの概要等説明〉

設置目的については、弓削開発総合センターと同じです。

昭和58年に建設し、38年経過している。

代替施設はありません。

1階には魚島保育所、2階には放送、CATVのサーバー室、3階は調理室、会議室、4階は図書室、郷土資料館等の公民館施設、5階はステージのあるホールとして会議等を行える施設となっており、広い分野で利用可能な施設となっており、避難所としても指定されていることから重要な施設であることから存続とする。

(会長)

魚島開発総合センターについて、ご意見、ご質問をいただきたいと思います。

(D委員)

他の施設と比べて委託費が違うが、説明をお願いします。

(総務課)

5階建てなのでエレベーターがついており、その管理費が含まれている。

(会長)

その他ありませんか。

(企画情報課)

〈魚島地域交流センターの概要等説明〉

設置目的については、1階は、船舶利用者待合所、事務所、2階は、地域交流、文化施設及び教養の向上、福祉の増進並びにコミュニティ活動の支援の場所の提供として設置している。

平成26年に建築され、7年が経過している。

代替施設は、新しい施設であり、検討は行っていない。

旧港務所の老朽化や地域住民が気軽に利用できる交流施設が他にないことから港務所とあわせて地域交流拠点整備のため建設され、地域交流センターとして年間利用者が1,000人以上と利用頻度が高く、住民の健康増進や交流のための憩いの場所となっている。また、1階は港務所の他に漁協の事務所も併設しており、漁協の運営している島で唯一の魚島商店としても活用されている。

住民にとって生活の拠点として活用されている重要な施設であることから存続とする。

(F委員)

魚島開発総合センターと比較し、利用者数が多いが、船に乗る人もカウントしているのか。

(企画情報課)

船に乗る人はカウントしていない。

2階スペースで卓球等、毎日利用されており、体操教室等もある。

(D委員)

光熱水費が他の施設と比較して高いが、空調か。

(企画情報課)

待合所も併設されており、出入りが多いため。

(会長)

他にご意見等ありませんか。

(総務課)

〈生名開発総合センターの概要等説明〉

設置目的については、弓削開発総合センターと同じになりますので省略します。

昭和56年に建築し、建築から40年が経過しているが、平成23年度から平成24年度にかけて耐震改修工事を行い、併せて大規模改修を実施しましたので、建物の健全度は良好です。

コスト関連としては、葬儀件数が減ったこと、コロナの影響でスポーツ協会の活動が減ったこと等により、歳入は減少傾向にあるが、歳出は、経常的な経費であり、ほぼ同額で推移している。

利用状況は、葬儀での使用が殆どなくなり、スポーツ協会の吹き矢部、琴教室での使用等が主なもので、有効活用が図れていない状況です。

利用が少ない状況だが、上島町の玄関である立石港からも近く、建築から40年が経過していますが、長寿命化改修を行うことで、30年程度は安全に使用が可能であることから、他の施設を廃止等した場合の代替施設、複合施設として有効活用する。

(会長)

生名開発総合センターについて、ご意見、ご質問をお願いします。

(D委員)

近隣に良い施設もあり、現状で利用をしていって、他の施設を統合して使用する形で良いと思う。

(会長)

その他、ご意見がないようでしたら次の施設をお願いします。

(総務課)

〈岩城開発総合センターの概要等説明〉

設置目的については、弓削開発総合センターと同じなので省略します。

昭和60年に建築し、建築から36年が経過しておりますが、平成30年に体育館部分の天井耐震改修工事を行い、令和2年度にもトイレの自動水洗化工事を実施しており、健全度は良好である。

コロナの影響でスポーツ協会の活動、葬儀での使用が減ったこと等により歳入は減少傾向にある。

歳出は、体育館部分の照明をLED化したことにより光熱水費が減少しているが、その他の経費は経常的な経費であり、ほぼ同額で推移している。

利用状況は、葬儀、スポーツ協会の活動の他、岩城中学校の体育館を兼ねており、部活等で使用されていることから、概ね現状の使用が見込め、利用頻度は高い状況です。

近隣に代替施設がなく、岩城中学校及び地域住民の体育館として利用頻度も高いことから、計画的な長寿命化改修を行い、存続とする。

(会長)

岩城開発総合センターについて、ご意見、ご質問をお願いします。

(F 委員)

今回リストアップされた施設について、存続したいものばかりであったが、他にも統合したい等の意見はないのか。

(事務局)

担当課の方で検討した限り、現時点では、こういう案でいただいている。

(F 委員)

各島に開発総合センターに類似した施設がある。それをどこかで整理しないといけない。

町からこの施設とこの施設を統合したいと、この協議会に投げかけてきた方が良いと思う。

266の施設をどのように減らそうかと考えているのだろうが、前回は斎場を統合したいとあったが、開発総合センターと類似する施設も島に一つあれば良いと思う。

(D 委員)

利用者側は、近くにあれば便利であるが、管理する側は、便利さより経費のことを考えるのはよくわかる。

岩城のコミュニティセンターも生名の三分団集会所も開発総合センターと近い。統合の提案をして、理解、協力を仰いだ方が話が進みやすい。

町民から統合について話を切り出すのは、言い出しっぺがきついと思う。

数値的なものを町から提示して、理解を得ながら進めていった方が、協議会

委員も協力しやすい。

委員に議員もいて、同じ考えでいらっしゃるの、議会で話して進めていた
だきたい。

(事務局)

弓削、岩城の開発総合センターは体育館施設があるが、主な利用形態は集会所
というの強い。他の集会所とどのように統合していくか検討していきたい。

(B 委員)

266の施設をリストアップして、ランキングを付けて一覧表にして協議会
に諮る方法が良いのではないかとこの話に対し、まずは85施設を検討すると回
答があったが、地域を代表する皆様が議会、町に言っていただいてスクラムを
組んでやっていかないと財政的に大変である。

今治は追加の2次的な統廃合の話を進めている。

協議の中に廃止、売却すべきものが上がってこないと非常に寂しい。

地域の統廃合も含めた集会所のあり方等、全体のあり方を検討するのが一番
大事である。

(会長)

今治市の話が出たが、大きければ大きいほど、マイナス、デメリットの方が
大きい。

松山市も愛媛県も関わったが、上島町の前回と今回、議論いただいた内容は、
非常に存在価値の高いもの、利用価値の高いものが多くて、存続させるという
方向性は、非常にうなずけるもの、納得いくものであると思う。

今後も統廃合等を含めて議論ができればと思う。

本日の議事はこれにて終了とします。

お疲れ様でした。

最後に事務局から今後のスケジュール等について説明があります。

事務局お願いします。

(事務局)

委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

事務局から連絡等をさせていただく。

前回の協議会で斎場を統合した場合と、そのまま使用した場合の比較資料
の要求があり、資料を作成した。

15年間ではあまり差は出なかったが、20年、25年経過すると、財政的
なメリットが出る。

委員の皆様の委嘱期間について、この3月末で一度、期間が満了する。

4月から2年間引き続きでお願いしたい。

次回の開催は、年度をまたいで、日程調整する。

(会長)

以上で、本日の検討協議会を閉会します。

皆様、お忙しい中、ありがとうございました。